

JHAエリートアカデミー第4期生 選考会

前年度
参考資料



2025.02.08

公益社団法人 日本ホッケー協会
強化育成本部 アンダーカテゴリー育成部
エリートアカデミー実行委員会



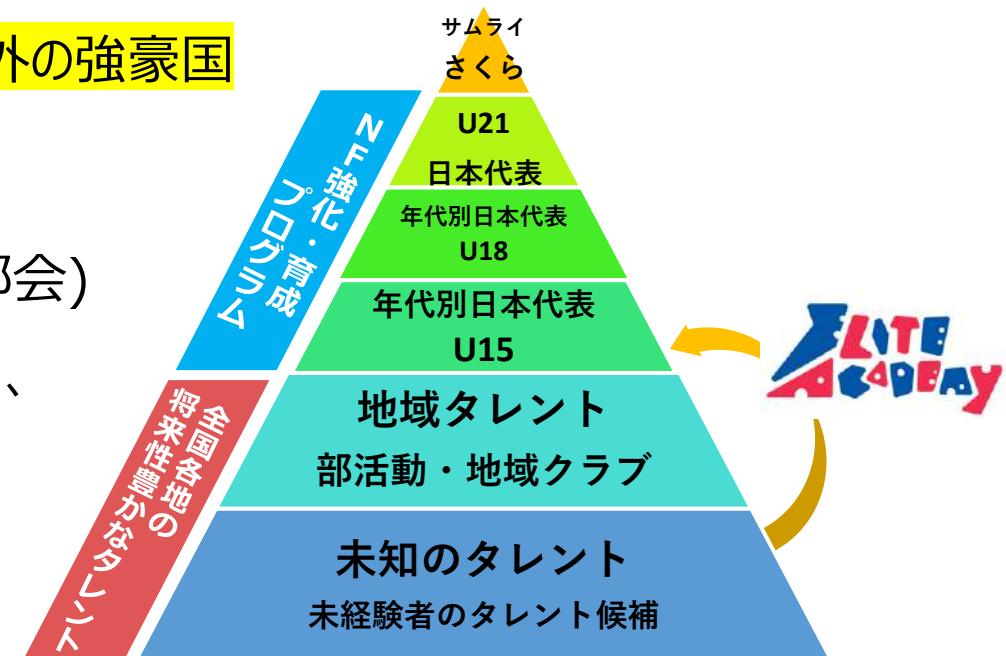
なぜ？JHAはタレント発掘事業に取り組んでいるのか？

ホッケー競技はオリンピック競技であり、国民スポーツ大会競技です。しかし、残念ながら日本での認知度は低く普及が十分進んでいるとは言えません。

日本ホッケー協会（JHA）は、サムライ、さくらの両代表チームが継続的にオリンピック、ワールドカップ等に出場し、メダルを獲得することを目標として強化を行なっています。

しかし、それを支える発掘・育成、特にタレント発掘においては、海外の強豪国に後れを取っている点は否めません。

これらの課題を解決するために、JHAではU15部会(旧中学校部会)地域タレント発掘事業と連携し有望なアスリートを発掘するとともに、学校部活動や地域クラブ等で指導を行うコーチのレベルアップを図ることを目指しています。





プロジェクトの趣旨

前年度【参考資料】

日本ホッケー協会では、強化戦略プランに基づき、科学的な根拠に基づいた普及・発掘・育成・強化を推進するための、アスリート育成パスウェイ「FTEM（エフテム）」を策定し、新たなパスウェイによる国際競技力向上を模索し取り組みはじめたところである。

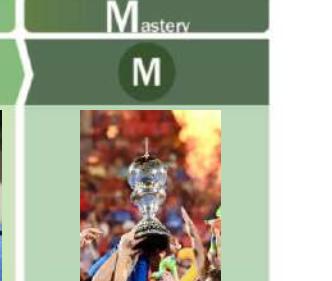
JHAエリートアカデミーは、ホッケー競技に適性のあるアスリートの発掘、育成が最大の目標であるが、強化育成本部のメンバーを中心として、ハイパフォーマンス強化育成部、指導者育成部、スポーツ少年団およびU15部会、その他、多くの関係者が一丸となって取り組むことにより、新たな可能性を見いだす事業となることを期待している。

具体的には、異なるカテゴリーの指導者が連携することにより指導メソッドの共有やトップチームの戦略を共有することによる一貫指導の構築が進み、この積み重ねが日本ホッケーの指導力向上に結びつくもの信じている。

アスリート育成パスウェイ | 種目名：ホッケー

作成途中

前年度【参考資料】

F <small>TEM</small>		F <small>1</small>		F <small>2</small>		F <small>3</small>		T <small>1</small>		T <small>2</small>		T <small>3</small>		T <small>4</small>		E <small>lite</small>		E <small>2</small>		E <small>3</small>		M <small>astery</small>	
F <small>TEM</small> 段階のイメージ																							
アスリートがどんな経験をするか	外遊びの経験を通して、敏捷性やしなやかな身のこなしを育む	体験会でホッケーを経験する クラブや部活動に所属し、ホッケーの基礎技術を身につける	チームやクラブに所属し、国内競技大会に参加して、ホッケーを楽しむ	地区選考会を経て、年代別日本代表選手(U12,U15)を目指す 発掘プログラム等で才能を見出され、ホッケーのトレーニングを続ける	JHAエリートアカデミーや年代別日本代表に選出される(U12,U15) 年代別の国際大会等に出場する	年代別日本代表選手に選出される(U17,U18) 年代別国際競技大会で中心選手として活躍する	サムライ・さくらの代表候補選手に選出される 年代別国際競技大会でメダルを獲得する	サムライ・さくらの選手に選出される	サムライ・さくらの選手としてオリンピックに出場する	オリンピック、ワールドカップでメダルを獲得する	オリンピック、ワールドカップで複数回、メダルを獲得する												
どんなアスリートを目指すか	外で活発に遊ぶのが好きで用具を使う遊びを楽しめるこども	ホッケーなどのチームスポーツを経験し、仲間と練習しながら勝利することを喜ぶるプレイヤー	ルールや基本的な技術を学び、チームを意識したプレーを実践できるアスリート	自主的にトレーニングに取り組みながら、年代別代表選手にチャレンジするアスリート	チームメイトと協力し、社会性や創造性を育みながら、年代別代表選手にチャレンジするアスリート	主体的にトレーニングに取り組み、ホッケーに必要なスキルやフィジカルを身につけ、サムライ・さくらを目指しているアスリート	強いメンタルを身につけ、年代別の国際競技大会を経験しながら、サムライ・さくらを目指しているアスリート	競技に専念しながら日本代表としての自覚を持って、国際競技大会で活躍しているアスリート	サムライ・さくらにおいてリーダーシップを発揮して、中心的な存在として活躍しているアスリート	オリンピック、ワールドカップでメダルを獲得し、国内のアスリートから憧れの存在となるアスリート	世界のロールモデルとして、FIH Player of the yearに選出されるアスリート												
どんな人が支えているか	家族、友人教員	家族、友人教員所属チームスタッフ 地方協会(PF)	家族、友人教員所属チームスタッフ 地方協会(PF)	家族、友人教員所属チームスタッフ JHAアンダーカテゴリースタッフ JHAアンダーカテゴリースタッフ 地方協会(PF) 地域TID	JHAアンダーカテゴリースタッフ 所属チームスタッフ 地方協会(PF) 地域TID 家族、友人教員	JHAアンダーカテゴリースタッフ JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 地方協会(PF) 教員	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 日本リーグ機構 国際審判員	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 日本リーグ機構 国際審判員	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 日本リーグ機構 国際審判員 スポンサー	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 国際審判員 スポンサー	JHA代表チームスタッフ 所属チームスタッフ 国際審判員 スポンサー												



J-STAR参画～エリートアカデミーが始まるまで

前年度【参考資料】

強化戦略
プラン

一貫指導
システム

タレント
発掘



2021年度

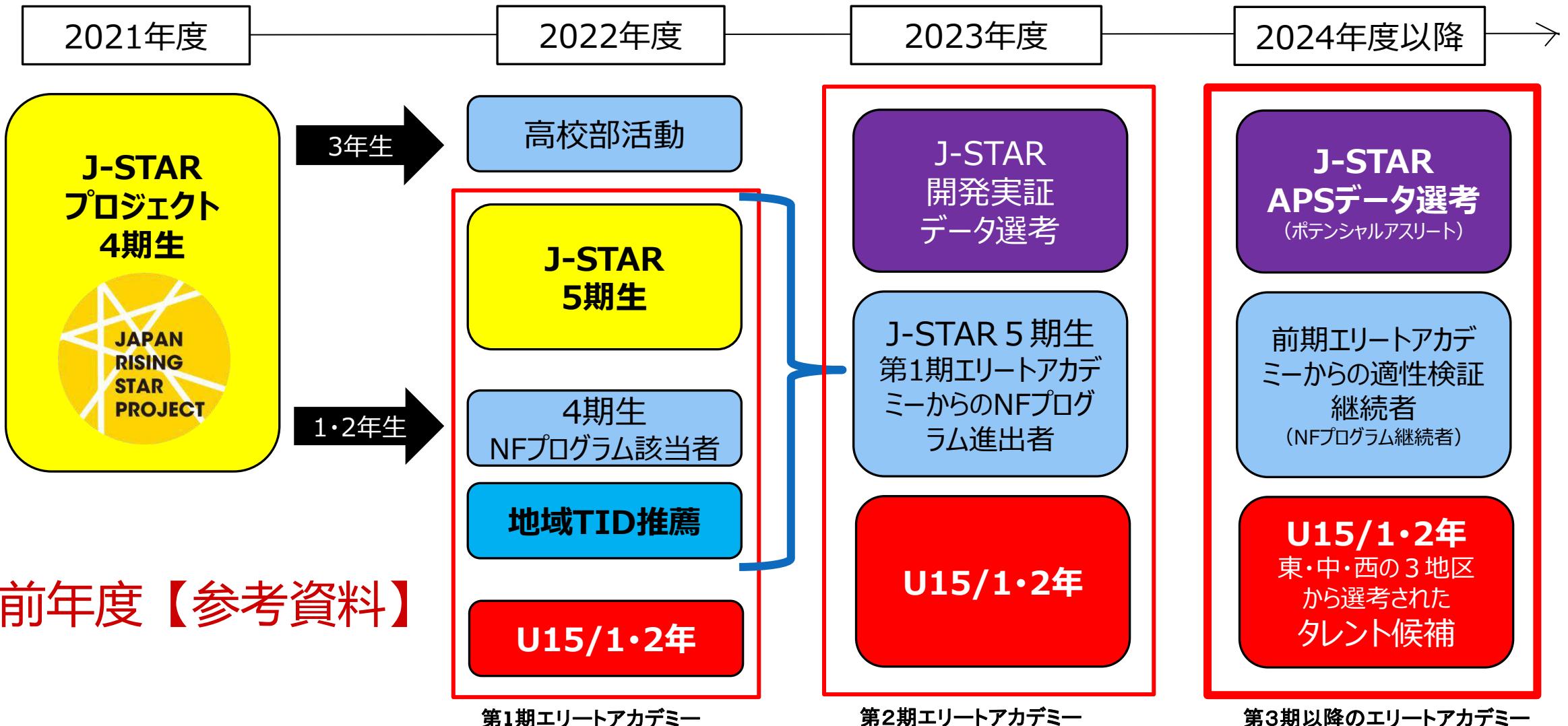
J-STAR
プロジェクト
4期生



Keyword
新たなパスウェイ



NF強化・育成プログラム JHAエリートアカデミー





JHA エリートアカデミー Mission/Vision/Value

〈Mission〉

前年度【参考資料】

- 「オリンピック・ワールドカップでメダルを狙うアスリートの輩出」
- 「誰もが憧れ、みんなが応援したくなるアスリートの育成」

〈Vision〉

- | | |
|---|---|
| <h3>〈アスリートの強化〉</h3> <ul style="list-style-type: none">・高い志を持ち、チームの文化や風土を理解し
実行できるアスリートの育成・選手がホッケーを通して人生を豊かにする経験を提供 | <h3>〈組織の強化〉</h3> <ul style="list-style-type: none">・すべてのアスリートが正しい知識と理論に基づいた
ハイレベルなコーチングを受けられる環境整備・選手とスタッフが互いに学び、成長できる組織文化の醸成 |
|---|---|

【Value】

- | | |
|--|---|
| <h3>〈アスリートの強化〉</h3> <ul style="list-style-type: none">・競技力向上と人間力向上の両立・ホッケーの原理原則などの正しい知識の習得・アスリート同士の信頼関係の構築 | <h3>〈組織の強化〉</h3> <ul style="list-style-type: none">・真のアスリート・セントラード・コーチングの実践・地域の指導者や強化育成本部（指導者育成部）との連携強化・一貫指導やアスリートパスウェイの整備、構築 |
|--|---|



エリートアカデミーのカルチャー（文化）

前年度【参考資料】

1. いつでも、どこでも、なにに対しても、一生懸命に取り組む（ハードワーク）

エリートアカデミーでは、選手に常に全力で取り組むことを求めています。練習だけでなく、試合や日常生活においても、常にベストを尽くすことが大切です。

2. 仲間を思いやり、助け合う（チームワーク）

ホッケーはチームスポーツです。チームメイトと協力し、助け合うことで、勝利を掴むことができます。エリートアカデミーでは、常にチームワークを意識した環境を提供しています。

3. 感謝の気持ちを忘れない（リスペクト）

チームメイト、コーチ、スタッフ、家族、そしてホッケーというスポーツに対して、感謝の気持ちを持つことが大切です。感謝の気持ちを持つことで、アスリートはより良い人間関係を築き、良いパフォーマンスを発揮することができます。

4. チームのルールや規律を守る（ディシプリン）

ホッケーにはルールがあります。チームにもルールがあります。これらのルールや規律を守ることは、チームワークを維持し、勝利するために重要です。

エリートアカデミーでは、選手が規律を守り、責任を持って行動することを求めています。

5. 楽しみながらホッケーをする（エンジョイ）

ホッケーは楽しいスポーツです。仲間と一緒に楽しみながらトレーニングをすることで、アスリートはモチベーションを維持し、より高いレベルを目指して努力することができます。



【参考】JHAエリートアカデミー第3期生 年間スケジュール

前年度【参考資料】		7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月
集合合宿	岩手 (6/8-9)			山梨 (9/28-29)	岐阜 (10/12-13)		和歌山 (12/14-15)	岐阜 (1/25-26)		
居住地Tr					居住地トレーニング					
オンライントレーニング				オンライントレーニング						
オンラインプログラム				オンラインプログラム						

- 集合合宿は年5回を予定。
- 居住地トレーニングについては、すでに部活・クラブにてホッケーをされている方はそちらでのトレーニングを継続し、エリートアカデミーがオンライントレーニングや個別面談などでフォローします。
- 所属されていない方は、お近くのチーム、コーチとマッチングします。
- オンラインプログラムは、月1~2回の頻度で実施。（技能・戦術、コンディショニング、栄養、目標設定など）

前年度参考

強化プログラム①

JHAエリートアカデミー
第3期生
～集合合宿～

集合合宿のパターン



- 6月以降、5回の合宿を計画
 - ① 6/ 8- 9 第1回合宿 (岩手県)
 - ② 9/28-29 第2回合宿 (山梨県)
 - ③ 10/12-13 第3回合宿 (岐阜県)
 - ④ 12/14-15 第4回合宿 (和歌山県)
 - ⑤ 1/25-26 第5回合宿 (岐阜県)

集合合宿の様子

前年度【参考資料】



スタッフ挨拶（山梨）



現役さくら選手による指導



さくらHCによる指導



アスリートプログラム（3期生）



トレーニング風景（3期生）



トレーニング（ポテンシャルアスリート）



居住地トレーニング (部活動・クラブチーム・TID・指導者連携)

前年度【参考資料】

強化プログラム②

JHAエリートアカデミー ～居住地トレーニング～

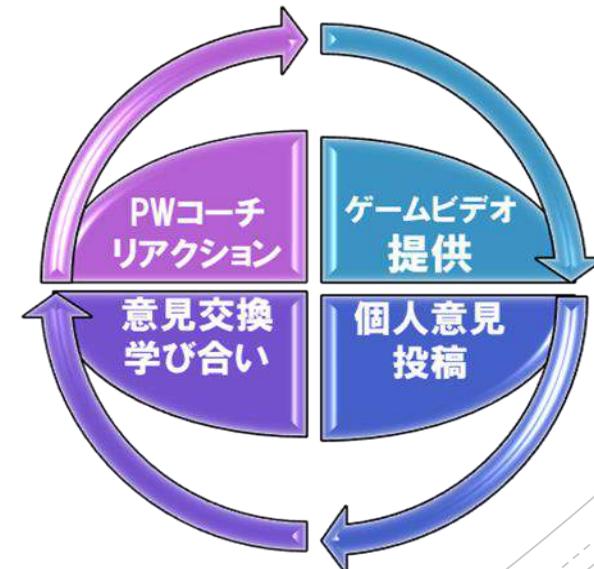
- ホッケークラブ等に所属していないタレント候補（ポテンシャルアスリート）には、居住地トレーニングが可能なチームや指導者とのマッチングをエリートアカデミーが行います。
- 学校長等の連携が必要な場合、エリートアカデミーがフォローします。
- すでに部活動やクラブに所属している選手には、所属チームでの練習に加え、必要に応じNFCコーチが個別にトレーニングをフォローします。

強化プログラム③

JHAエリートアカデミー
～オンライントレーニング～

コミュニケーションツールBANDの活用

- ・学び合いの場として成立
- ・NFコーチのタイムリーな返信→信頼関係



オンライントレーニングの様子

前年度【参考資料】

【オンライントレーニング（スキル編）】



【オンライントレーニング（ゲーム分析編）】





オンラインプログラム

強化プログラム④

JHAエリートアカデミー
～オンラインプログラム～

前年度【参考資料】

オンラインを活用した

トレーニングの実践や知識の習得

〈過去のプログラム例〉

- ・トッププレーヤーに求められるホッケーのスキル講座
- ・ストレッチ等、コンディショニングの実践講座
- ・管理栄養士による栄養講座
- ・メンタルコーチによるプログラム（目標設定）

※今年度も、上記の他にもいろいろなオンラインプログラムを企画します。（月に1～2回を予定）



JHAエリートアカデミー第4期生の待遇と自己負担

【待遇】

前年度【参考資料】

- ・JHAエリートアカデミー第4期生に認定します。（認定証の授与）
- ・JHAのNFコーチ等による先進の指導を提供します。（トップチームHC等による一貫指導）
- ・年間5回(予定)の集合合宿を実施いたします。
 - ・アスリート本人の旅費（交通費、宿泊費）、保険料はJHAおよびJSCの規定に基づいて支給
- ・居住トレーニングのできる環境・条件等の整備をサポートします。（未経験枠アスリート）
- ・オンラインによるトレーニング・講座・ワークショップを年間を通して実施します。
- ・NFコーチ、プロジェクトマネージャーとの面談・相談があれば隨時対応いたします。

【自己負担】

- ・自己負担金として25,000円/年間を徴収いたします。
- ・保護者(引率者)の旅費等については自己負担でお願いいたします。



JHAエリートアカデミー スタッフ

役割	役職	氏名
本事業統括	事業実施責任者 実施副責任者 前年度【参考資料】 " (統括コーチ兼) " 統括コーディネーター	馬場 治男 (JHA_U強化育成部/飯能市教育委員会) 寺本 祐治 (JHA_トップカテゴリー副部長/山梨学院大学) 高橋 章 (さくらJapan_HC/株.表示灯) 富田 恒平 (JHA_U12・ホッケーF.未来部/社法.それいゆ) 川上 啓 (日本体育大学HC/日本ドーピング機構) 三好 浩史 (元日本代表GK/株.表示灯)
企画・運営 メニュー作成・配信 選手・チーム指導等	NFコーチ " " " トレーナー	三澤 美香 (オリンピアン/NPO山梨県スポーツアカデミー) 松村 洋介 (現サムライJapan_AC/岩手県川口中学校) 真鍋 敬子 (オリンピアン/佐賀県スポーツ協会) 三浦 恵子 (前さくらJapan_AC・オリンピアン/川崎重工) 森 宣裕 (U15トレーナー他/一社.BeeTanz)
アドバイザーエリアコーチ	アドバイザーコーチ " エリアコーチ (茨城県) " (和歌山県)	中條 友博 (サムライJapan・ゲームアナリスト) 永井 友理 (オリンピアン・前さくらJapan_C/ソニーBRAVIA Ladies) 菊池 玲子 (東海スポーツ少年団代表・茨城ホッケー協会) 坂本 博紀 (和歌山ホッケー協会/和歌山県庁)
事務・庶務	日本ホッケー協会 事務局長 旅費精算担当	坂本 幼樹 (JHA_事務局長) 余吾 由太 (株.ランブリッジ)